

7.16 新潟県中越沖地震 福祉避難所活動報告

3年前の中越大震災に続き、記憶もさめやらぬ間に中越沖地震が発生いたしました。社団法人 新潟県老人福祉施設協議会では3年前の教訓と経験を活かし、全国の各種団体よりご協力いただきながら、被災地への支援活動にあたってまいりました。教訓というには、あまりに短い期間での大災害の再発生に、いたたまれない思いに駆られますが、この度の活動を支えた動きを再度振り返ります。全国の皆様より多数の人的・物的ご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

社会福祉法人長岡三古老人福祉会 特別養護老人ホーム横山けやき苑 富田幸二

7月16日 午前10時13分 地震発生
M 6.8 最大震度6強



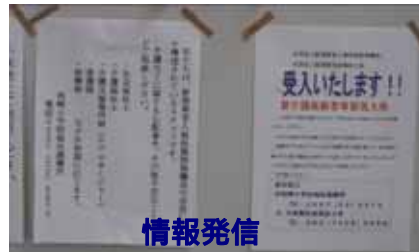
7月17日 県老協緊急会議開催 会員施設に職員派遣を要請。新潟県より「福祉避難所」への介護要員配置要請を受ける。

7月18日 県老協会長・副会長 現地災害対策本部訪問 県老協より、長岡三古老人福祉会へ福祉避難所運営のコーディネート役の要請ある。

7月19日 柏崎小学校福祉避難所開設。刈羽村デイサービスセンター福祉避難所へ派遣活動始まる。柏崎小学校福祉避難所が福祉避難所本部となる。以後5箇所福祉避難所が立ち上がる。



夜通しの機器搬入



情報発信



福祉避難所の様子

7月24日 福祉避難所の拡大と長期化を予想し、全国老協、関東ブロック連絡協議会へ支援を要請

7月25日 福祉関係相談窓口の整理について会議(柏崎地域振興局)

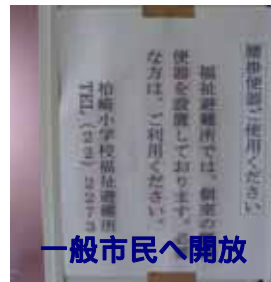
事務所



(窓口機能)
(コーディネート機能)



便所(上下水道使用不可)



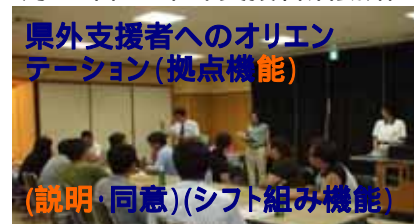
一般市民へ開放



救護所併設

7月26日 (社)全国老人福祉施設協議会 役員、職員 被災地視察、打ち合わせ

7月27日 県外支援者活動始まる



県外支援者へのオリエンテーション(拠点機能)

(説明・同意)(シフト組み機能)



(送迎機能)



柏崎市内介護福祉施設では

7月31日 (株)ツクイデイサービスセンターふれあい福祉避難所及び特別養護老人ホームいこいの里福祉避難所閉鎖に伴い、一部の利用者移動

8月5日 柏崎市立元気館障害者デイサービスセンター福祉避難所閉鎖に伴い、一部の利用者移動

8月 8日 天皇・皇后両陛下、被災地お見舞にて来県(後日御下賜金を手交)
福祉避難所関係者打合せ会議(県・市・他)

8月16日 特別養護老人ホームくじらなみ福祉避難所閉鎖に伴い、一部の利用者移動



8月20日 刈羽村老人福祉センター福祉避難所閉鎖

8月23日 柏崎小学校避難所における自衛隊炊き出し終了

8月24日 柏崎小学校避難所における自衛隊入浴設備終了

8月30日 被災高齢者支援協力の打合せ会議

8月31日 仮設住宅の鍵(最終)が、利用者に渡される。
福祉避難所閉鎖と、被災施設等への支援活動終了



9月 6日 県内地域包括支援センター及び在宅介護支援センターに対し、柏崎市管内の地域包括支援センター支援の為職員派遣を依頼。(9/18~10/31までの派遣予定)

派遣先

特別養護老人ホーム:

むつみ荘・しおかぜ荘・なごみ荘・いこいの里・柏柳の里・にしかりの里・やすらぎの里
(柏崎市) (柏崎市) (柏崎市) (柏崎市) (柏崎市) (刈羽村) (出雲崎町)

福祉避難所: 柏崎小学校・元気館障害者DS・特養くじらなみ・刈羽村老人福祉センター

(定員目安: (30人) (12名) (10名) (40名))

派遣者数

県内施設: 70施設 延べ903名 県外施設: 16都県市125施設 延べ687名

県外協力老施協団体: 千葉県・茨城県・栃木県・埼玉県・東京都・群馬県・神奈川県
(順不同) ・横浜市・川崎市・山梨県・静岡県・石川県

・山形県・富山県

義援金

各種団体から計15,804,873円

内愛知県・名古屋市老人福祉施設協議会 1,309,535円



課題・背景

<人的> 使命・組織力(イニシアティブ・総合窓口(サテライト事務局機能)・コーディネート
・機動力・ネットワーク・責任)

<物的> 安心・安全 立地条件(設備・ライフライン・食・便所・寝床・風呂・情報・プライバシー)

<金銭>

災害時の確認事項

情報の窓口一本化 状況の変化に合ったタイムリーな情報の伝達 サービスの質は落とさず守る 依頼ケースについては絶対断らない 法人全体で支えてゆく

災害は持ちつ持たれつ(お互い様の気持ちで)